

社長メッセージ

お客さまのニーズに真摯に対応し
最高益を更新することができました。
今後もあらゆる事業活動の改善と革新を
通じて社会の発展に寄与してまいります。



代表取締役社長

奇藤 恭彦

昨年、利益水準を過去最高益(2008年3月期)の約80%にまで回復させ、2018年度はこれを受け最高益更新に向けたさまざまな戦略を実行に移すとともに、事業環境の変化に応じて可能な限りの対策を施していますことをお伝えしました。ここに最高益更新をご報告できますことを、たいへん嬉しく思います。

当期の売上高は、現地通貨では、対前期比13.5%(円換算すると16.5%)増加し、すべての事業セグメントで増収増益を達成しました。

当社グループでは、あらゆる事業活動を通じてお客さまのニーズにお応えすることにたえず取り組んでいます。製品の価格設定に際しては、お客さまに提供す

る製品の価値をより適正に価格に反映させるべく努めております。これらの取り組みが奏効し、全社および各事業セグメントにおいて2桁の増益を達成することができました。営業利益は前期比41.2%増の3,368億円、税引前利益は前期比40.5%増の3,403億円、また当期純利益は前期比51.3%増の2,662億円となりました。また、2010年3月期以降の累積利益成長は、税引前利益で見た場合、2,133億円(税引後利益では1,824億円)となり、年平均の成長率は13.1%(税引後利益では15.5%)に達しています。

投下資本利益率(ROIC)は、4.2%増の18.2%に、自己資本利益率(ROE)は、3.4%増の11.9%にそれぞれ高める

ことができました。年間配当金は、20円増配の一株当たり140円にいたしました。また、2018年5月には発行済み株式数の1%に相当する自己株式を消却しました。

当期と2008年3月期とのセグメント別利益比較は次の通りです。

セグメント別営業利益と構成比

セグメント	2018年3月期		2008年3月期	
塩ビ・化成品事業	932億円	27.7%	339億円	11.8%
半導体シリコン事業	929億円	27.6%	1,413億円	49.2%
シリコーン事業	519億円	15.4%	374億円	13.0%
電子・機能材料事業	616億円	18.3%	407億円	14.2%
機能性化学品事業	257億円	7.6%	174億円	6.1%
加工・商事・技術サービス事業	114億円	3.4%	166億円	5.8%
合計	3,368億円	100.0%	2,871億円	100.0%

(注) 2011年3月期にセグメント区分を変更しており、上記の2008年3月期の金額は現行のセグメントに合わせて組み替えたものです。

当社グループの収益構成は、以前にも増してバランスのとれたものとなっています。当期の成果を踏まえ、さらなる増益

につなげるべく取り組んでいます。これは容易なことではありませんが、達成にむけて挑戦しているところです。

社長メッセージ

現在、当社グループは世界中の生産拠点において、「安全と品質」を最優先としながら高稼働の操業を続けています。グループ全体で20,000人の意欲と熱意溢れる仲間が世界の各拠点で日々の業務に取り組み、お客さまに高品質の製品をお届けしています。また、従業員を対象にした能力開発やさまざまな研修制度を設けるなど、人材育成にも積極的に取り組んでいます。

当社グループでは、今後とも各製品へのお客さまからのニーズに精力的かつ丁寧にお応えするとともに、将来の成長に向けた設備投資を引き続き積極的に計画し取り組んでまいります。当期の設備投資額は、グループ全体で前期比約40%増の2,500億円を見込んでおり、セグメント別の内訳は次の通りです。

セグメント別設備投資額

セグメント	2019年3月期見込	2018年3月期	増加
塩ビ・化成品事業	890億円	636億円	40% ↑
半導体シリコン事業	680億円	515億円	32% ↑
シリコン事業	330億円	291億円	13% ↑
電子・機能材料事業	400億円	202億円	2.0倍 ↑
機能性化学品事業	110億円	70億円	57% ↑
加工・商事・技術サービス事業	90億円	50億円	80% ↑
合計	2,500億円	1,762億円	42% ↑

私たちが培ってまいりました優れた技術は、当社グループの事業活動の根幹をなしています。安全と品質を第一とした操業と相まって、私たちの確かな技術がお客さまへの安定的な製品の供給を支えています。

このような基盤をさらに拡充していくため、当

社グループでは研究開発への投資を年々拡大し、当期の研究開発費は517億円(年間売上高の3.6%)となっています。同期にはおおよそ25,000品目の新製品を発表し、2,182件の特許を取得いたしました。当社グループの売上の30%超は、特許に裏打ちされた製品の売上が占

めています。研究者は、お客さまや産業界のニーズや課題の解決に向け、意欲的に取り組んでいます。過去5年間における営業利益を研究開発費で割った当

社グループの研究開発投資営業利益率の高さは、同業他社の中でも群を抜いています。

さらに、当社グループでは、国連が掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」に向けた製品のポートフォリオを構想し、製品開発を進めています。当社グループの製品を提供することがSDGsの達成に貢献し、同時にSDGsによって当社グループの事業機会も拡大するものと考えています。例えば、当社グループのシリコン製品は、温室効果ガスの削減につながるため、幅広い分野に利用されています。また、電気自動車(EV)用の電池材料の開発も進めています。このような取り組みによって化石燃料の消費量が低減され、その結果、当社グループの事業活動にとって必要な原材料の入手がより容易になり、価格も適正になるものと考えています。

これからも当社グループは、あらゆる事業活動の改善と革新を通じて、社会の発展に寄与してまいります。当社グループの製品は、産業界や社会、私たち

の生活を支えています。私たちは、製品を通じて、創造的な解決策やアイデアを提供できますよう引き続き力を注いでまいります。

当社グループが、これからもお客さま、株主の皆さま、地域社会の皆さまと成果を共にわかちあっていくには、当社グループは継続して成長を遂げていかなければなりません。その実現に向けて、私たちは事業ポートフォリオや活動領域の拡大を図り、さまざまな取り組みを進めています。そうした事業活動を通じて、それぞれのステークホルダーの皆さまへの責任を果たすとともに、よりいっそうご満足いただけるよう努めてまいります。

お客さま、株主の皆さま、地域社会の皆さまの、日ごろのご信頼とご理解に感謝申し上げます。また、これからもよりいっそうのご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。